

都市内分権を推進し、 市民参画による“いきいき”と 効率的なまちづくりを進めます

地方分権時代にふさわしい新市を創っていくためには、市民参画によるまちづくりと効率的な行財政運営を推進することが不可欠です。市民一人ひとりがいきいきと暮らすためには、自らがまちづくりに関わりを持つとともに、行政は市民の多様なニーズに的確に対応した行財政運営を推進することが重要となります。そのためには、行政が意識を変え、同時に市民一人ひとりも変わることが必要です。

まちづくりの進め方の視点1 - 市民参画

誰もが住みよい地域社会をつくるため、市民一人ひとりが支え育て合う、地域が自立したコミュニティ社会を形成するために、全市域で都市内分権型のまちづくりを進めます。そのために、行政は市民とのパートナーシップに基づき、広報・広聴活動の推進に努め、全市的な地域自治区の支援の考え方や男女共同参画の理念をふまえ、市民の市政への参画機会を拡充します。

市民の行政への参画機会の拡充、協働の推進

都市内分権による新しい地域自治の充実



まちづくりの進め方の視点2 - 行財政

市民一人ひとりが納得しうる質の高い市政運営を行うために、効率的な目標ある行財政改革、行政職員の意識改革、情報公開の推進、近隣市町村との連携などに努めます。

効率的な行財政運営

行政サービスの充実

適正な人員管理

情報公開等の推進

広域連携の推進

